

# リハビリテーション科

リハビリ科長 八木 輝彦 (理学療法士)

## 1. 令和4年度 科内目標

### 《業務目標》

1. 業務の効率化を図る  
個々の業務内容の確認から開始する
2. 脳血管外科新設への対応を開始する
  - ①脳外科医師主催の研修会への参加
  - ②脳卒中パスへの参加、パス会議への参加
3. 新電子カルテ立ち上げ準備
  - ①電子カルテからリハメイトへの記載内容反映の調整
  - ②書類の整備
  - ③内容確認など
4. 休日リハビリ対応の継続  
月曜日から土曜日まで充実したリハビリテーション提供を継続する。  
土曜日は3名体制、祝日は2名体制を継続する。
5. 他部署との連携強化
  - ①病棟毎に担当療法士を配置し、医師・看護師・その他スタッフとの窓口業務を行う。(回診の同行・カンファレンス開催・退院調整時の情報提供など更に密接な関係を継続する)
  - ②カンファレンス運用の見直しを行い、看護計画に生かせる取り組みを継続する。
  - ③病棟との合同研修の開催：NICUとポジショニング研修を開催する。

### 《数値目標》

1. 療法士1人の1日あたり算定単位数年間平均18単位を目指す。
  2. 業務の効率化を行い、時間外時間の是正を図る。1ヶ月1人10時間以下を目指す。
- ## 2. 診療体制（施設基準・特徴・臨床活動）・スタッフ

当科は、外来スペースにリハビリ室1(81.04 m<sup>2</sup>)と言語聴覚室(10.62 m<sup>2</sup>)、4階病棟に心疾患リハビリテーション室(32.63 m<sup>2</sup>)、5階病棟にリハビリ室2(16.43 m<sup>2</sup>)、6階病棟にリハビリ室3(16.43 m<sup>2</sup>)を設けている。

#### 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーションⅡ  
廃用症候群リハビリテーションⅡ  
運動器疾患リハビリテーションⅠ  
呼吸器疾患リハビリテーションⅠ  
がん患者リハビリテーション  
心大血管疾患リハビリテーションⅠ

#### スタッフ 13名

医師 1名  
理学療法士 6名  
作業療法士 3名  
言語聴覚士 2名  
事務補助員 1名

リハビリテーション部門として、月曜から土曜日まで連続したリハビリテーションを提供している。

### 3. 年間統計

表 1、2022年度診療科別  
リハビリテーション提供件数

診療科	延べ件数
内科(消化器等)	5470
小児・新生児科	2841
外科	2781
循環器内科	1392
整形外科	670
脳神経外科	660
心臓血管外科	465
その他	1678
総計	15957

(件)

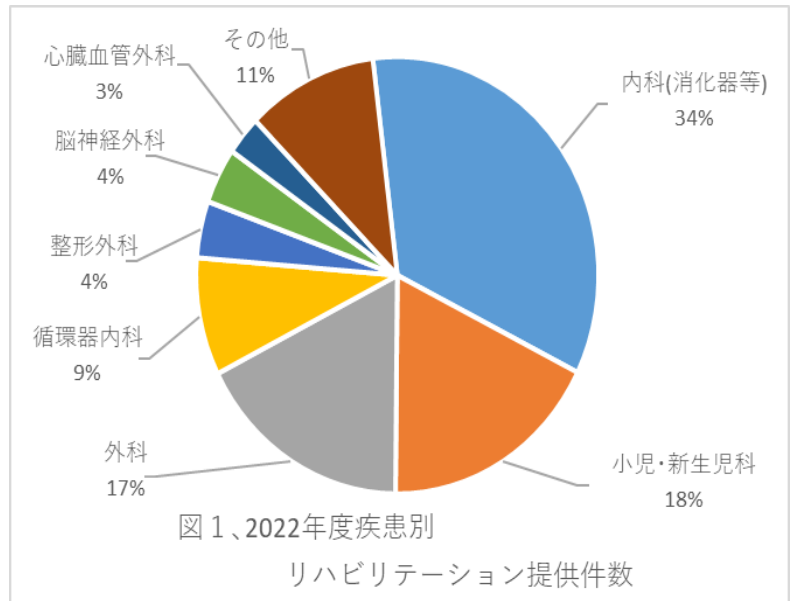
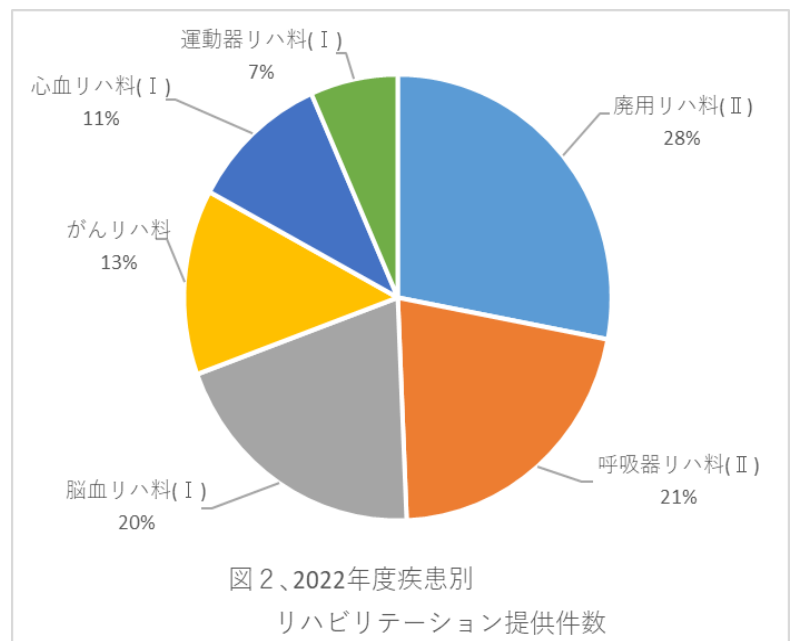


表 2、2022年度疾患別  
リハビリテーション提供件数

疾患別リハ	延べ件数
廃用リハ料(Ⅱ)	4459
呼吸器リハ料(Ⅱ)	3397
脳血リハ料(Ⅰ)	3196
がんリハ料	2140
心血リハ料(Ⅰ)	1674
運動器リハ料(Ⅰ)	1056

(件)



## 4. 1年間の総括

院外活動：2022年度は、引き続き COVID-19 の感染予防の為、院内での感染予防の取り組みの継続を行いながら、院外の活動は自粛、またはオンラインでの対応を行った。

千葉市の地域包括ケアシステム・自立促進ケア会議は、ハイブリッド方式で再開されることになり、当科はオンライン参加を行った。千葉圏域リハ・パートナー登録施設としての活動に関しては、今年度も感染予防の観点から派遣を自粛した。海浜病院主催で行われている「市民公開講座」については、2023年度は対面で実施されることになり、認知症についての講演を看護師とともに開催できた。

院内活動：2022年度は、脳血管外科が新設となり対応を開始した。脳神経外科医師主催の勉強会へ参加、脳卒中パスの取り組みの開始、脳パス会議への参加を行った。脳外科ワーキング会議の参加や脳外科回診への参加など多職種での積極的な連携強化が行われた。

スタッフについては ST1 名が増員となり、ST2 名体制となる予定であったが、1 名が産休・育休となり、2022年度も1名での対応となった。

数値実績では、COVID-19 感染の影響が残る中、脳神経外科の開設が後押しとなり、前年度の 14,865 件から 1,000 件以上増加した 15,957 件となった。

しかし、療法士 1 人 1 日の単位数については、前年度平均 15.1 単位から今年度は 14.7 単位と減少している。原因として、各診療科や病棟からの多職種カンファレンスの依頼と患者数増加による書類作成の増加が増えていることが考えられる。

時間外業務時間数の是正についても、前年度、療法士 1 人 1 ヶ月平均 10.7 時間まで下がっていたが、今年度は、1 人 1 ヶ月平均 12.9 時間となり、書類作成やカルテ記載、申し送り作成での時間外が増加した。

## 5. 今後の目標

院内の今後の発展に向けた取り組みを進めると共に、千葉市の病院・市職の役割として、千葉市地域活動への協力を出来る範囲で継続する。

- ・千葉市自立促進ケア会議(美浜区)への協力
- ・千葉市地域リハビリテーション活動支援事業への協力(美浜区)
- ・脳神経外科運用の標準化・調整を継続
- ・当院主導の院内・院外公開講座、ミニ講座の開催、協力
- ・業務の効率化を図るため、個々の業務内容の再確認と業務効率の再検討を行う